



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R4年7月
編集者 坂口 洋一
No. 61



恒例行事
じゃが芋掘り体験会!

7月9日、鈴木会長、渡辺副会長指導の下、会員が丹精込めて作ったじゃが芋掘りの体験会が今年も開催されました。本会が発足してからの恒例行事で、今年で6回目を迎えます。七丁目の2年生以下の児童とその保護者が参加してくれました。

菅原芋部長より芋の掘り方等の注意点が説明され、一人ひとりが青いバケツを渡されやる気満々、今や遅しと張り切っていました。



それとばかりに畑に散開し、芋掘り開始。会員や保護者の助けを借り、就学前の子供も一生懸命です。

芋の種類は「きたあかり」、煮物などにはやや煮崩れしやすいですが、コロッケやサラダなどに向いていると、参加者のお母さんの言。早くも調理法まで頭に浮かんでくるとはさすがです。

「緑色がついている芋は、ソラニンという毒があるからダメだよ」と芋部長。これまた芋部長と言われるだけにさすがです。

秋にはさつま芋が待ってるからね!



袋いっぱいのじゃが芋はお持ち帰り！おもしろいよお！



芋だけでなく人間の子もすくすく育ってます！

「コロナ禍3年目の夏休み！
きらくな会のじいちゃん、ばあちゃんたちも見守っているからね！
夏休み楽しんでね！」

令和4年の小学一年生の通学風景
4月、入学当時は、母親と手をつないで、緑ヶ丘公園正面入り口付近まで一緒に！
5月、公園西入り口まで、
6月、7月と徐々に送る距離を縮め、
7月11日からは、玄関先から、ひとり立ちして同級生と合流して、登校できるように、成長しました。
かわいい、ピカピカの一年生たち、ガンバレ !!
(交通補導をしている鈴木会長からの投稿)